

## Webアクセシビリティ検証サービスのご提案

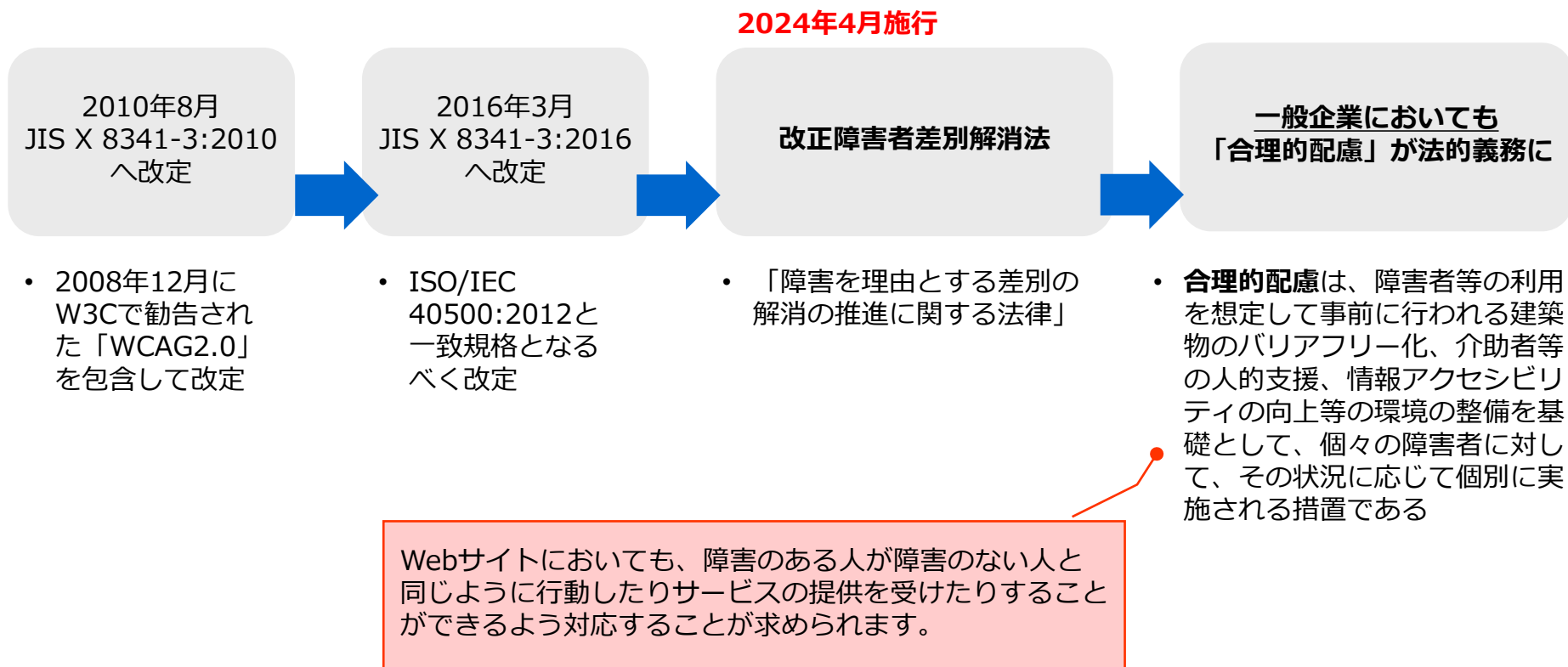
-2024年4月改正障害者差別解消法への対応に向けて



株式会社ブロードバンドセキュリティ  
ゴメス・コンサルティング本部

## Webアクセシビリティ対応の必要性

高齢者の方や障害をお持ちの方にも、ストレスなくWebサイトを利用できる「アクセシビリティの高い」品質が求められています。さらに、「改正障害者差別解消法」が施行されると一般企業においても「合理的配慮」が法的義務になります。



## Webアクセシビリティ検証サービスのご提案

ガイドラインの評価基準（調査項目）に沿って、御社サイトの問題箇所についてレポートいたします。クローリングによる調査と目視による調査により柔軟な対応が可能です。

### ①クローリングによる調査

- ・対象ページクローリング調査
- ・JIS61項目中37項目をツール診断



### ②目視による診断

- ・JIS24項目を希望に応じて目視診断



- ・アクセシビリティ達成度をスコア評価
- ・画面ショットと解説付きのPowerPoint資料
- ・達成度を含めた項目詳細のExcel資料



Gomez CONSULTING SERVICES

Webアクセシビリティ対応状況 - サマリー

Webサイトのアクセシビリティ問題は、WCAG 2ガイドラインに基づいています。問題は、Webサイトのユーザーに問題を発生させる可能性があります。まずA数値のエラーからご確認ください。

https://www.gomez.co.jp/

項目	得点
JIS X 8341-3:2016 レベルA	75.46
JIS X 8341-3:2016 レベルAA	60.83
JIS X 8341-3:2016 レベルAAA	51.28

各項目ごとの達成状況

知見可能な項目 (レベルA)	合格数と合格ページ数
1.1.1: 番号リストの順序	合格数: 0.00% (0/24ページ)
1.3.1: 情報及び関係性	合格数: 0.00% (0/24ページ)
1.3.2: 意味のある順序	合格数: 4.17% (1/24ページ)
1.4.2: 音声の制御	合格数: 100.00% (24/24ページ)
知見可能に届く項目 (レベルAA)	合格数と合格ページ数
1.4.3: コントラスト (最低レベル)	合格数: 0.00% (0/24ページ)
1.4.4: テキストのサイズ変更	合格数: 4.17% (1/24ページ)
知見可能に届く項目 (レベルAAA)	合格数と合格ページ数
1.4.6: コントラスト (標準レベル)	合格数: 0.00% (0/24ページ)
1.4.8: 視覚的提示	合格数: 0.00% (0/24ページ)

Gomez CONSULTING SERVICES

1.1.1 テキストによる代替 - 非テキストコンテンツ レベルA

ユーザーに示されるすべてのテキスト以外のコンテンツでは、同等の目的を果たす代替テキストを設定することが必要です。また、以下の箇所では適切な代替テキストがリンクテキストと見做されます。

https://www.gomez.co.jp/

項目	得点
JIS X 8341-3:2016 レベルA	75.46
JIS X 8341-3:2016 レベルAA	60.83
JIS X 8341-3:2016 レベルAAA	51.28

代替テキストを追加するかどうかにかかわらず、すべての画像が代替テキストの属性をもちいることが重要です。

スクリーンリーダーでは、空の代替テキストの指定された画像の読み取りができません。画像がリンクでない場合は、リンクテキストで代替テキストが読み取られるため、スクリーンリーダーでは代替テキストが読み取られるため、スクリーンリーダーにとっては問題ありません。

OMG (コンテンツ管理システム) を使用している場合は、ツールレベルでの代替テキストがすべての画像に追加されるようにします。

画像がリンクである場合は、画像とリンクを組み合わせて代替テキストを設定します。画像がリンクでない場合は、リンクテキストで代替テキストは十分なので、画像の代替テキスト (空の属性) は使用しません。

## 評価基準① – ツール診断 (クローリングによる調査)

No.	項目	基準詳細	レベル
1.1.1	非テキストコンテンツ	アイコン、写真、バナー、グラフ、ボタンに、それを表示する目的を示した代替テキストを設定する。	A
1.3.1	情報及び関係性	ウェブページ内に見出し、箇条書き、表組、ヘッダーなどを設置する場合は、それらを示すために用意されたHTMLタグを使用する。	A
1.3.2	意味のある順序	操作の案内や情報の提供を行うコンテンツでは、制作時に想定した順序でユーザーが情報を得られるようにする	A
2.1.1	キーボード	キーボードしか利用できないユーザーにもウェブページの閲覧、操作ができるようにする	A
2.1.2	キーボードトラップなし	フォーカスの操作によりキーボード操作をロックしない	A
2.2.1	タイミング調整可能	時間制限を課すウェブサイトでは、ユーザーが操作に時間がかかることを想定した対策を設ける	A
2.2.2	一時停止、停止、非表示	流れ文字やスライドショーなどが長時間続くコンテンツでは、ユーザーがその動きを制御できるようにする	A
2.3.1	3回の閃光、又は閾値以下	一般閃光閾値、及び、赤色閃光閾値を超える点滅を1秒間に3回以上するコンテンツを避ける	A
2.4.1	ブロックスキップ	不要なコンテンツを省略できる仕組みを駆使して、ユーザーが主たるコンテンツを参照することを容易にする	A
2.4.2	ページタイトル	ページの主題、目的を示したページタイトルが設定されている	A
2.4.3	フォーカス順序	操作や情報提供を行うコンテンツでは、適切な順序でフォーカスが移動できるようにする	A
2.4.4	リンクの目的 (コンテキスト内)	リンク先が予測できるようにリンクの文言を設定する	A
3.1.1	ページの言語	コンテンツに、デフォルトの表示言語を指定する	A
3.2.1	フォーカス時	フォーカスを移動することでコンテンツが変化することを事前に通知する	A
3.2.2	入力時	入力操作をすることでコンテンツが変化することを事前に通知する	A
3.3.2	ラベル又は説明	ユーザーからの入力を受け付けるフォームの実装時には、入力欄のラベル、及び入力内容の説明を提供する	A
4.1.1	構文解析	ウェブページを分析したブラウザーが誤った構文解釈、表示をしないようにする	A
1.4.3	コントラスト (最低限レベル)	文字、画像などのコンテンツと、その背景とのコントラスト比を4.5以上にする	AA
1.4.4	テキストのサイズ変更	ページ内のテキストを200%まで拡大できるようにする	AA
2.4.6	見出し及びラベル	主題や目的を説明した見出しやラベルを提供する	AA
2.4.7	フォーカスの可視化	マウス、及び、キーボードフォーカスは常に可視可能にする	AA
3.1.2	一部分の言語	ページ内で部分的に他の言語を用いている箇所がある場合、その言語コードでマークアップする	AA
1.4.6	コントラスト (高度レベル)	文字、画像などのコンテンツと、その背景とのコントラスト比を7.0・1以上にする	AAA
1.4.8	視覚的提示	テキストを読みやすく提示する	AAA
2.1.3	キーボード (例外なし)	全ての操作がキーボードだけで利用できるようにする	AAA
2.2.3	タイミング非依存	動画や音声、リアルタイム性のあるコンテンツ以外でユーザーに時間制限を課さない	AAA
2.3.2	3回の閃光	1秒間に3回以上点滅するコンテンツを避ける	AAA
2.4.8	現在位置	ユーザーが閲覧、操作しているページの位置づけ、ステップ等がわかるようにする	AAA
2.4.9	リンクの目的 (リンクだけ)	リンク先が予測できるようにリンクの文言を設定する	AAA
2.4.10	セクション見出し	読了を意図したコンテンツにおける見出しの設定	AAA
3.1.3	一般的ではない用語	専門用語、業界用語の解説を用意する	AAA
3.1.5	読解レベル	コンテンツを中学校教育までの知識や理解力で読解できるようにする	AAA
3.1.6	発音	発音を理解することが必要なコンテンツで正しい発音を提示する	AAA
3.2.5	要求による変化	ユーザーがクリックをした時のみ、コンテンツは操作を受け付けるようにする。または、そのように設定できる	AAA
3.3.5	ヘルプ	ユーザーが目的を遂行する際に利用できるヘルプを提供する	AAA

## 評価基準② – 目視診断

No.	項目	基準詳細	レベル
1.2.1	音声及び映像だけ(収録済)	アップロードされた音声や映像データは、映像が視認できない、または、音声聴取できないユーザーにも把握できるようにする	A
1.2.2	キャプション(収録済)	音声を聞くことのできないユーザーへ向け、音声の概要や目的を示した解説を提供する	A
1.2.3	音声解説、又はメディアに対する代替コンテンツ(収録済)	映像を見ることのできないユーザーへ向け、映像の概要や目的を示した解説を提供する	A
1.3.3	感覚的な特徴	操作の説明を理解する前提として、形や大きさ、配置、方向、または音の把握が必要な場合に、それが不可能なユーザーへの代替策を設ける。	A
1.4.1	色の使用	色の違いが識別できなくてもコンテンツが認識できるようにする	A
1.4.2	音声の制御	ウェブページを開いた直後、音声再生される場合に、音声の制御が容易にできるようにする。	A
3.3.1	エラーの特定	ユーザーから受け付けた入力内容に誤りがある場合、その旨をフィードバックする	A
4.1.2	名前(name)・役割(role)及び値(value)	動画や音声、ファイル操作などの独自プラグインや、PDF、スマートフォンアプリなどウェブサイトと共に提供されるコンテンツが、ユーザーに操作できることを保証する	A
1.2.4	キャプション(ライブ)	音声を聞くことのできないユーザーへ向け、音声の概要や目的を示した解説を提供する	AA
1.2.5	音声解説(収録済)	映像を見ることのできないユーザーへ向けた音声解説を提供する	AA
1.4.5	文字画像	テキストで記載すべきコンテンツを画像(印刷物)で掲示しない	AA
2.4.5	複数の手段	ユーザーが目的のページへ到達しやすくなるよう、正規のルート以外にも複数の手段を用意する	AA
3.2.3	一貫したナビゲーション	サイト内のデザインを統一する	AA
3.2.4	一貫した識別性	サイト内のマークアップを統一する	AA
3.3.3	エラー修正の提案	入力エラーを防ぐための方策として、修正方法を提示する	AA
3.3.4	エラー回避(法的、金融、データ)	法的手続き、金銭取引、または、個人の情報、データ制御に関わる手続きでのエラーを回避する	AA
1.2.6	手話(収録済)	手話を第1言語とするユーザーに動画の趣旨が伝えられるようにする	AAA
1.2.7	拡張音声解説(収録済)	映像を見ることのできないユーザーへ向けた詳細な音声解説を提供する	AAA
1.2.8	メディアに対する代替コンテンツ(収録済)	動画や音声コンテンツを保証するテキストを提供する	AAA
1.2.9	音声のみ(ライブ)	音声を聞くことのできない利用者へ向け、音声の内容を解説したコンテンツを提供する。	AAA
1.4.7	小さな背景音、又は背景音なし	講演やナレーションを含むコンテンツで、その内容が背景音に邪魔されず聴取できる	AAA
1.4.9	文字画像(例外なし)	テキストで記載すべきコンテンツを画像(印刷物)で掲示しない	AAA
2.2.4	割り込み	通話応答やアラームなど、作業中に発生する割り込みへの対応をユーザーが制御できる	AAA
2.2.5	再認証	ユーザーがサイト内での作業を中断、再開することができるようにする	AAA
3.1.4	略語	略語に対し、元の語や意味を説明する	AAA
3.3.6	エラー回避(すべて)	ユーザーからの入力を受け付けるあらゆるシーンで入力エラーへの対策を講じる	AAA

※ツール診断・目視診断ともにどの項目を検査するかは貴社とのご相談のうえ決定してまいります。

## 資料イメージ① 診断結果の一覧表

対象ページについてガイドラインの基準に達しているか否かを判定し、それぞれの調査項目についての結果をレポートします。状況の把握、および御社のアクセシビリティポリシーの「試験結果」に掲載する内容に適用いただけます。

No	細分箇条 題名	レベル	クローリング	概要	項目ごとの合格率	/	/ir
						71.1%	73.7%
1	1.1.1 非テキストコンテンツ	A	○	アイコン、写真、バナー、グ	56.3%	合格	合格
2	1.2.1 音声だけ及び映像だけ (収録済)	A	目視	アップロードされた音声や映像	93.8%	該当なし	該当なし
3	1.2.2 キャプション (収録済)	A	目視	音声を聞くことのできないユー	97.9%	該当なし	該当なし
4	1.2.3 音声解説、又はメディアに対する代替コンテ	A	目視	映像を見ることのできないユー	93.8%	該当なし	該当なし
5	1.3.1 情報及び関係性	A	○	ウェブページ内に、見出し、箇	6.3%	不合格	不合格
6	1.3.2 意味のある順序	A	○	操作の案内や情報の提供を行う	18.8%	不合格	不合格
7	1.3.3 感覚的な特徴	A	目視	操作の説明を理解する前提とし	91.7%	該当なし	該当なし
8	1.4.1 色の使用	A	目視	色の違いが識別できなくてもコ	54.2%	合格	不合格
9	1.4.2 音声の制御	A	目視	ウェブページを開いた直後、音	100.0%	合格	合格
10	2.1.1 キーボード	A	○	キーボードしか利用できない	95.8%	不合格	合格
11	2.1.2 キーボードトラップなし	A	○	フォーカスの操作によりキー	93.8%	不合格	合格
12	2.2.1 タイミング調整可能	A	○	時間制限を課すウェブサイトで	97.9%	合格	不合格
13	2.2.2 一時停止、停止、非表示	A	○	流れ文字やスライドショーなど	97.9%	合格	不合格
14	2.3.1 3回の閃光、又は閾値以下	A	○	一般閃光閾値、及び、赤色閃光	95.8%	不合格	不合格
15	2.4.1 ブロックスキップ	A	○	不要なコンテンツを省略できる	85.4%	不合格	合格
16	2.4.2 ページタイトル	A	○	ページの主題、目的を示した	95.8%	不合格	不合格

ガイドラインの細分箇条に沿った調査を実施し、対象ページがガイドラインの基準に達しているか否かを判定します。

それぞれの調査項目についての結果をレポートします。各項目ごとの達成状況を合格率（達成ページ数/全頁）で把握できます。

## 資料イメージ② 項目ごとの課題箇所の明示と一覧出力

不合格になった項目については、項目ごとに課題箇所を明示いたします。  
また、Excelの一覧レポートにはその項目が不合格になったページの一覧が出力されます。

## 調査項目ごとの課題箇所の明示と一覧

**1.1.1 テキストによる代替 — 非テキストコンテンツ**

ユーザーに示されるすべてのテキスト以外のコンテンツでは、同等の目的を果たす代替テキストを設定することが必要です。また、以下の箇所では画像の代替テキストがリンクテキストと同じです。

<https://www.gomez.co.jp/>

**レベルA**

代替テキストを追加するかどうかにかかわらず、すべての画像が代替テキストの属性を持っていることが重要です。

スクリーンリーダーでは、空のalt属性とテキストの指定されたalt属性の両方を処理できます。属性がない場合、一部のスクリーンリーダーでは代わりに画像のパスが読み取られるため、エンドユーザーにとっては価値はありません。

CMS (コンテンツ管理システム) を使用している場合、デフォルト設定で空のalt属性がすべての画像に追加されるようにします。

画像がリンクでもある場合は、画像とリンクを組み合わせることで冗長性を避けます。画像がリンクされていない場合は、リンクテキストで情報は十分なので、画像の代替テキスト (空のalt属性) は使用しません。

調査項目ごとに、課題箇所を明示し、解説いたします。

## 資料イメージ③ ページ単位の不合格箇所リスト

個別のページ単位ではWebアクセシビリティ基準に合致しなかった箇所をソースコードの行数で指摘します。

## ページ単位の不合格箇所の指摘

## 1.1.1 非テキストコンテンツ

[不合格]

詳細を閉じる2個の画像に、代替テキストの設定されていないものがあつた。評価した画像17個の11.8%以上を占めている。

58行目: /common/images/lp/logo\_gomez.svg

59行目: /.assets/head\_txt\_04\_bbsec.gif

16個の画像で、妥当とは考えられないテキストでの説明が与えられていた。

58行目: 画像「/common/images/lp/logo\_gomez.svg」の説明が無い。

59行目: 画像「/.assets/head\_txt\_04\_bbsec.gif」の説明が無い。

120行目: 画像の説明が十分ではない「品質管理」。

134行目: ロゴである場合には「ロゴ」と付けくわえる。

148行目: 画像の説明が十分ではない「アクセシビリティ」。

161行目: 画像の説明が十分ではない「データプライバシー」。

242行目: 画像の説明が十分ではない「写真: 品質管理」。

260行目: 画像の説明が1文で書かれているが、この場合は十分ではない「写真: Accessibility」

278行目: 画像の説明が1文で書かれているが、この場合は十分ではない「写真: SEO / Response」

316行目: 画像の説明が十分ではない「microsoft logo」。

317行目: 画像の説明が十分ではない「Allianz logo」。

318行目: 画像の説明が1文で書かれているが、この場合は十分ではない「Oxford University Press logo」

319行目: 画像の説明が1文で書かれているが、この場合は十分ではない「UC Berkeley logo」

320行目: 画像の説明が十分ではない「Renault logo」。

322行目: 画像の説明が1文で書かれているが、この場合は十分ではない「Boston Scientific logo」

390行目: 画像の説明が十分ではない「Gomez」。

1つの画像の代替テキストが重複していた。

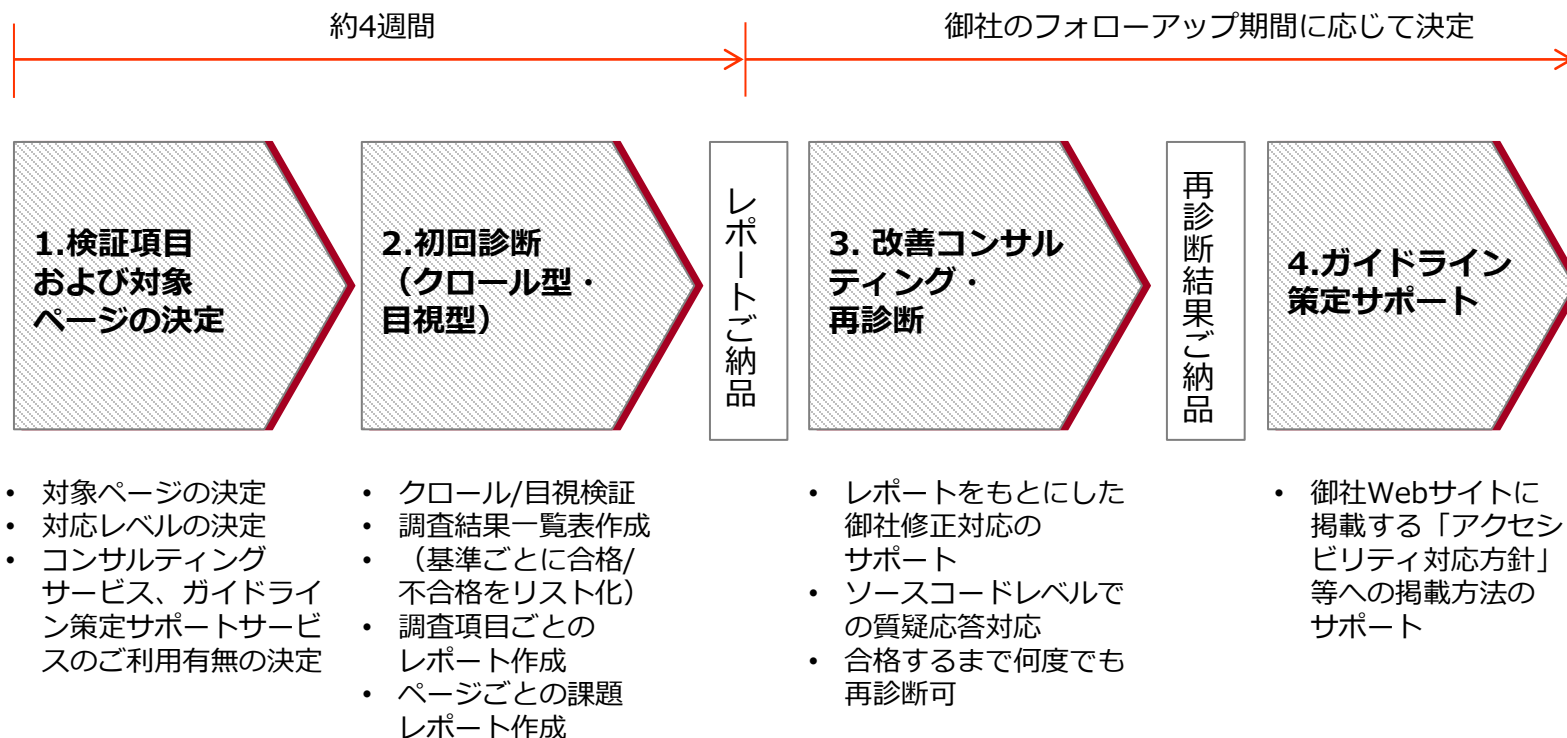
59行目: 58行目の画像と同じ代替テキスト「」

不合格項目があつた場合には、「どのページのどこに」該当箇所があるのかがご提示します。  
不合格箇所の修正をスムーズに行なうことが可能です。



## ご納品までの流れ

導入にあたっては検証項目の確認および対象ページのご提示をいただきます。  
初回診断レポートのご納品後は、改善コンサルティングや御社修正後の再診断も行わせて頂いています。



## 料金表

下記料金プランに限らずクロール数や内容の組み合わせによって料金は個別にカスタマイズ可能です。

「初回診断」にはアクセシビリティに関する現サイトのチェック結果しか含まれないため、検証結果の「内容」に関するサポートは「改善コンサルティング」をご利用ください。

項目	内容	価格（税別）
1. 初回診断 （クロール・目視）	クロール調査・目視調査によるアクセシビリティ診断 適合レベル：AA	50万円／30ページ ※1ページあたり1万円追加
2. 改善コンサルティング・ 再診断	検証結果の修正対応に関するサポート・コンサル 合格するまで何度でも何ページでも再診断可  ※初回診断時のページ以外の場合は1ページあたり2万円追加	30万円／月額  ※2か月～
3. ガイドライン策定 サポート	Webサイトに掲載する「アクセシビリティ対応方針」の 内容、および検査結果の掲載方法に関するサポート	30万円

※初回診断はサイトごとのお見積りになります。

※改善コンサルティング・再診断は、期間ではなくページ単価 x 数量でのご契約も可能です。

※AAA（トリプルA）の診断については別途お見積りになります。

※スマートフォンページを対象とする場合はご相談ください。

## 実績・事例（抜粋）

当社のWebアクセシビリティ検証サービスは、上場企業様をはじめ多数の企業様からご依頼を頂戴しております。

銀行	小売（ホールディングス）	電気機器メーカー
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回診断：40ページ</li> <li>・コンサルティング：実装→再診断</li> </ul> ※1年間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回診断：40ページ</li> <li>・コンサルティング：実装→再診断</li> </ul> ※1年間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回診断：210ページ</li> <li>・コンサルティング：実装→再診断</li> </ul> ※1年間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン策定</li> </ul>
旅行会社	食品メーカー	保険
<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回診断：50ページ</li> <li>・コンサルティング：実装→再診断</li> </ul> ※6か月間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回診断：30ページ</li> <li>・コンサルティング：実装→再診断</li> </ul> ※3か月間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回診断：60ページ</li> <li>・コンサルティング：実装→再診断</li> </ul> ※3か月間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン策定</li> </ul>

## よくあるご質問

ご質問	ご回答
<b>1.初回診断と再診断は何が違うのでしょうか？</b>	<p>初回診断は、ご指定のページについて要改善箇所をご報告します。（レポート＋一覧表＋詳細レポートをご納品） 再診断は、初回診断後に課題が出てきますので、その課題を修正したあとに改めて診断して合否をお伝えいたします。（対象ページは初回診断をしたページ）</p>
<b>2.再診断の回数に制限はありますか？</b>	<p>「適合（合格）になるまで何度でも診断可能」です。</p>
<b>3.改善コンサルティングはどのような内容ですか？</b>	<p>初回診断レポートではNG例、一般的な対処方法をご提示いたします。 改善コンサルティングをご契約いただきますと、個別のページの修正方法のお問い合わせに対応します。（例：制作会社からの修正方法の提案が正しいかどうか確認する）</p>
<b>4.何ページをチェックするのが適切なのでしょうか？</b>	<p>すべてのページを診断・改修しなくても、「●●ページを●●基準で対応しています」といった記載をアクセシビリティ対応方針（ガイドライン）に記載することができます。 WAICも適合試験について、100ページを超えるサイトについては、例えばランダムに選択した25ページと、サイトを代表するページを選択した15ページをもって、サイト全体の検査とみなして良い、とあります。 結果として「最低のラインが30ページ程度」になることが多いため、初回診断のページ数を30にしております。※ページの追加も可能です。</p>
<b>5.チェックするページの選定方法、考え方について教えてください？</b>	<p>考え方としては下記をご提示しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トップページ、カテゴリトップなど、アクセスが多いページを対象とする</li> <li>・CMS等のテンプレートが異なるページはそれぞれ対象とする</li> <li>・問い合わせフォームなどユーザーのアクションが発生するページを対象とする</li> </ul>
<b>6.英語ページ、スマートフォン用ページは対象にすべきでしょうか？</b>	<p>英語と日本語で同じテンプレートを使用している場合はどちらか一方を対象とすることでコストを抑えることができます。 （スマートフォン用ページも同様）</p>

## 会社概要

## 株式会社ブロードバンドセキュリティ

〒160-0023

東京都新宿区西新宿8-5-1

野村不動産西新宿共同ビル4F

URL : <https://www.bbsec.co.jp/>

設立 : 2000年11月30日

代表者 : 代表取締役社長 滝澤 貴志

資本金 : 292百万円

従業員数 : 222名 (2022年6月末現在)

## ゴメス・コンサルティング本部

URL : <http://www.gomez.co.jp/>

本部長 : 森澤 正人

事業内容 : Webサイト評価・分析・アドバ  
イスサービス、Webサイト構築サービス

TEL : 03-5338-7436 (部署直通)

## Gómez™ サービスラインナップ

## マーケティングデータベース

経営企画・マーケティング担当

経営判断の参考となる業界や消費者のリサーチデータを蓄積・クラウド提供

## ユーザビリティテスト

マーケティング・UI/UX担当

一般消費者にリモートでサイトを操作してもらいUI/UX課題を抽出

## サイト評価レポート・アクセシビリティ

UI/UX・ウェブ担当

UI/UX基準に沿って現サイトの課題点と改善施策を提案 高齢者・障がい者対応状況

## Web構築・運用

UI/UX・ウェブ担当

顧客業界別の専門ディレクターによるWebサイト・アプリ開発

## パフォーマンスモニタリング

マーケティング・システム担当

可用性のためのアプリケーション監視パフォーマンス改善も実施

BBSec  
BroadBand Security, Inc.

- ・ リスクアセスメント
- ・ PCI-DSS準拠支援
- ・ ISO27001等認証取得支援
- ・ CSIRT構築支援

- ・ アプリケーション脆弱性診断
- ・ ペネトレーションテスト
- ・ ソースコード診断
- ・ クラウド設定診断

- ・ 脆弱性診断ツール
- ・ 改ざん検知ツール
- ・ EDR・WAF・SIEM
- ・ デジタルフォレンジック